

平成 28年度 高松市事務事業評価表 (事中・事後評価)

事務事業名	図書館運営事業		
部 局 名	教育局	課(室)名	中央図書館
		電話番号	087-861-4501

【事業全体概要】まちづくりの目標：心豊かな人と文化を育むまち

総合計画	政策	心豊かな生涯学習社会の形成		主体	市	
	施策	生涯学習の推進		期間	平成 20年度～平成 27年度	
	基本事業	学習施設・機能の充実		総事業費	3,262,832	
重点取組項目				特定財源	国	14,261
関連根拠法令等					県	1,692
事業区分		自治事務	種別	事中・事後	市債	
事業種類		単独			他	188,059
				一般	3,058,820	

事業の概要
市民の教養、調査研究、レクレーション等に資することができるよう、資料を収集・整理し、保存するとともに、市民に対し本等の資料の貸し出しを行った。

【事業の目的と指標】

対象	市民	対象指標名	人口
手段	中央図書館ほか各地域館および移動図書館等において、図書館資料を幅広く収集し、市民に提供するとともに、インターネット、携帯電話からの蔵書検索や予約を可能とするなど、手軽に図書館資料を利用できるサービスを展開する。	活動指標名	蔵書購入冊数
意図	高松市全域に図書館サービスを提供し、親しみやすく利用しやすい図書館となるよう、市民サービスの向上を図る。	成果指標名	貸出冊数 図書館利用者数
結果	図書館サービスの充実に努め、市民の生涯学習活動を推進する。	効率指標名	コスト 100万円当たりの蔵書購入冊数

【指標値および事業費の推移】

指標名	単位	平成 25年度	平成 26年度	平成 27年度	目標値	目標年度
対象指標	人	426,000	427,000	420,000	409,000	
活動指標	冊・点	43,659	53,416	52,061		
成果指標	冊	2,638,895	2,692,217	2,831,042		
	人	553,107	583,501	613,910		
効率指標	冊	111	238	237		
トータルコスト	[千円]	392,000	416,229	425,170		
(事業費)	[千円]	196,520	224,323	225,568		
(職員人件費)	[千円]	195,480	191,906	199,602		

【環境変化等】

開始時周辺環境(背景)	現状周辺環境	今後周辺環境(予測)	住民意向分析
学習意欲の高まりに対応できる情報拠点としての図書館運営を構築する。	生涯学習の場として、多様な図書館サービスが求められている。	図書館システムの更新や子ども向け図書館ホームページ保守管理など、さらなるサービスの向上が必要である。	親しみやすく、利用しやすい図書館づくりが求められている。

【妥当性評価】

1. 事業の実施主体として市の関与は妥当か A 法令等により市が実施しなければならない 公立図書館としては、市が事業運営することが必要である。
2. 事業の上位目標である施策に貢献しているか A 貢献度が大きい 市民に利用される図書館として、図書館サービスの充実に努め、市民の生涯学習の推進に寄与している。
3. 成果を上げるため、またコストを削減するため、対象あるいは意図（目指す状態）を拡充・縮小する必要があるか B 必要性は中程度 市民ニーズに答えるために、必要となる資料や情報の収集について削減することは、図書館の機能を果たすことができない。
4. 事業を廃止・休止した場合に影響があるか A 影響は大きい 市民にとって図書館事業（サービス）は必要不可欠である。
5. 市民協働の実施状況はどうか（どのような市民参画・市民活動との連携等を実施したか） B 事業にNPO、市民団体等が参画している 市民の読書活動を推進するために、図書館で行うイベント等については、ボランティア団体と連携を図り、事業を行っている。

【有効性評価】

6. 事業の成果（成果指標値）を向上させる余地はあるか B 向上余地が考えられる（中小程度） 図書館の利用促進のため、図書館システムの更新（改良）や、カウンター業務での接遇などについて、より一層のサービス向上に努める。
7. 事業執行上の見直しを行ったか（昨年度何か業務の見直しを行ったか） A 実施済み／実施する必要がなかった 図書館システムの更新に合わせ、資料の貸出方法や館外取次サービスにおける予約数の見直しなどを行った。また、交通便利性の高い瓦町サテライトを開設することにより、利用しやすい拠点整備を図った。
8. 成果目標値に対する実績値（達成度）はどうだったか C 概ね達成できた 市民への貸出資料数について、目標値は達成できている。

【効率性評価】

9. 成果を達成するための活動量（活動目標値に対する実績値）はどうだったか C 概ね達成できた 当初見込んでいた資料購入数等は確保することができた。
10. コスト縮減ができたか D 縮減できなかった 既に、できる限り、カウンター業務従事職員のほか、各担当業務に非常勤嘱託職員を充てて、業務の執行を行っているところである。

【一次評価】

評価区分	継続													
本市図書館では、図書館運営に関する基本方針を定め、市内全域を網羅した図書館サービスの提供、各年齢層の読書活動の推進、文化事業の推進・支援等の重点施策に基づき、各種事業に取り組んでおり、今後においても、生涯学習の拠点施設として運営していく必要がある。														
改革案														
内容	期待効果													
改革案なし	<table border="1"> <tr> <td rowspan="3">成果</td> <td>向上</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>維持</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>低下</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </table>	成果	向上				維持				低下			
成果	向上													
	維持													
	低下													
	<p>阻害要因なし</p> <p>阻害要因</p>													

【二次評価】

評価区分	継続
市民に役立ち、地域に貢献する図書館の実現のため、多様なニーズに応じた機能の充実、サービスの提供を図る必要がある。	